



報道関係者各位

株式会社ピースマインド

**精神的・社会的健康度の高い人が自己分析・課題解決にカウンセリングを積極活用
- 7034件のカウンセリングデータによる大規模調査、労働者の健康度別に相談内容を分析 -**

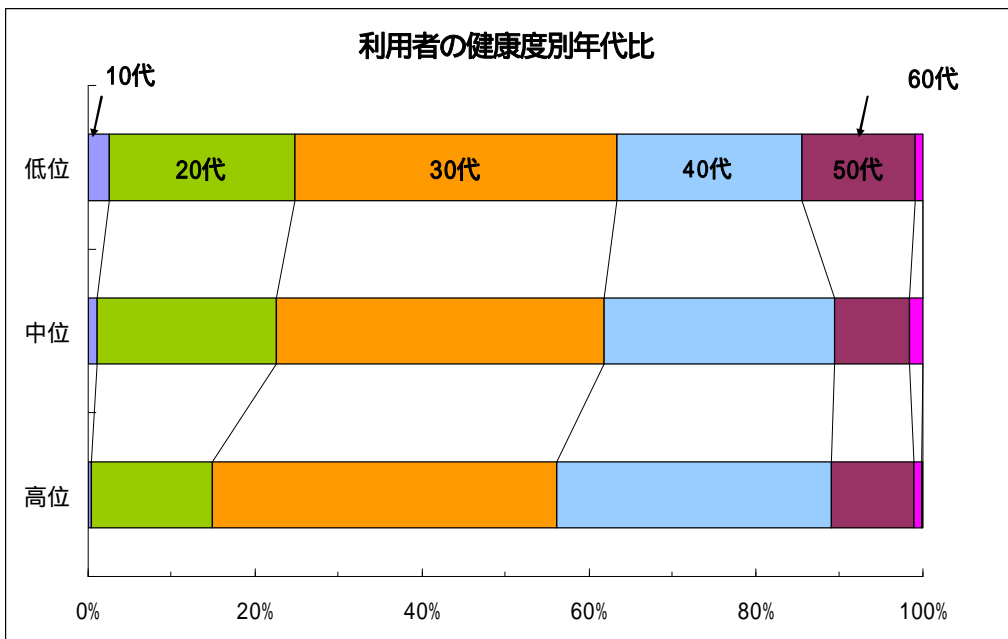
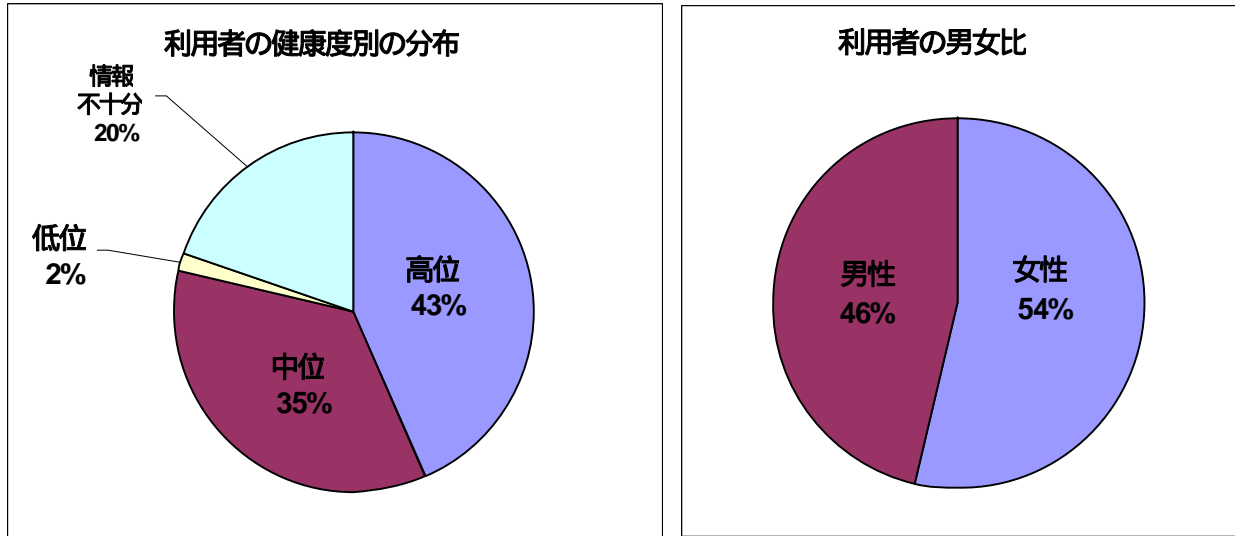
メンタルヘルスサービスを提供する株式会社ピースマインド（本社：東京都中央区、代表取締役社長：荻原国啓、以下ピースマインド）の調査・研究組織「ピースマインド総合研究所」は、7034件のカウンセリングデータを基に、ご利用者の精神的・社会的健康度を高・中・低群に区分し、各区分における相談内容を調査・分析、その傾向をまとめました。調査概要と主な分析結果は以下のとおりです。

【 調査・分析結果の概要 】

目的	<p>経済不況により社会的環境が悪化するに伴い、労働者のメンタル不調者が増加している。病気になった後のケアや対応だけでなく、メンタルヘルスの予防に繋がる活動が必要とされている。その取り組みの一つとして期待されるカウンセリングサービスにおいて、多様化・複雑化している労働者（およびその家族）の属性や相談内容に応じたサービスとカウンセリングの質向上に反映させるため、健康度別に相談内容を調査し、その傾向を分析する。</p>
対象	<p>ピースマインドの契約企業・団体従業員及びその家族のうち、カウンセリングサービス（対面、電話、オンライン）の利用者 男性：3261件、女性：3773件、計7034件（のべ件数）</p>
期間	<p>2008年10月～2009年6月 計9ヶ月間</p>
方法	<p>カウンセラーによって記録されたカウンセリングデータを基に、利用者の健康度（GAF 尺度）を用いて評定し、高・中・低群に区分）と相談内容との相関について解析を行う。</p> <p>GAF尺度とは 症状の度合い（程度）と社会的にどれくらい機能しているかを、総合的に数値で表現したもの。0～100で表し、数値が高いほど健康度が高い。1987年アメリカ精神医学会の精神疾患の診断基準マニュアル（DSM）に取り入れられ、現在では広く用いられている。</p>
結果	<p>< 利用者の傾向 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング利用者の 約4割が健康度「高」群 である。 ・性別による健康度の分布の差はみられない。 <p>< 健康度別の相談傾向 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康度「高」群の主な相談テーマは、「仕事の質」「恋愛」。 ・健康度「中」群の主な相談テーマは、「仕事の量」「ワークライフバランス」「復職」。 ・健康度「低」群の相談テーマは、「休職」「人間関係」が多く、内容は多様。健康度が下がるほど復職相談が増加する。 ・健康度「低」群と気分障害傾向には弱い正の相関がある。 ・健康度 高・中・低の区分に関係なく、それぞれ10%前後の夫婦関係の相談がみられる。 ・全体では、約7割が仕事関連の相談となっている。 <p style="text-align: right;">調査結果詳細（一部抜粋）は別紙参照</p>
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・健康度が高いほど、カウンセリングの場で自己分析しながら問題解決に取り組んでいる傾向がうかがえる。 ・健康度が高いほど、相談の内容は仕事量から質の問題へと変化する。 ・健康度が低いほど人間関係全体の悩みであり、高くなるほど恋愛など特定の関係の悩みとなる。 ・健康度が低いほど、気分障害に悩み、休職や復職など職業生活にとって切実な問題を相談していると思われる。 ・夫婦関係の相談は、健康度に関係なく存在する。 <p>全体としては、従来のカウンセリングでは少数とされていた精神的・社会的健康度が高い層の利用が目立ち、半数近くを占める結果となった。気分障害や人間関係といった従来型の悩みの相談もある一方で、日常生活に特に支障はないものの、より良い生活の実現を求めてカウンセリングを積極活用するという層が一定数存在し、カウンセリングの新しい使い方が浸透しつつあることがうかがえた。</p>



【 利用者の傾向 】



健康度について

< 健康度高位 >

症状が全くないか、あったとしても一過性のものである。または、社会的・職業的・学校生活面で、障害はほとんどない。もしくは全くない。

< 健康度中位 >

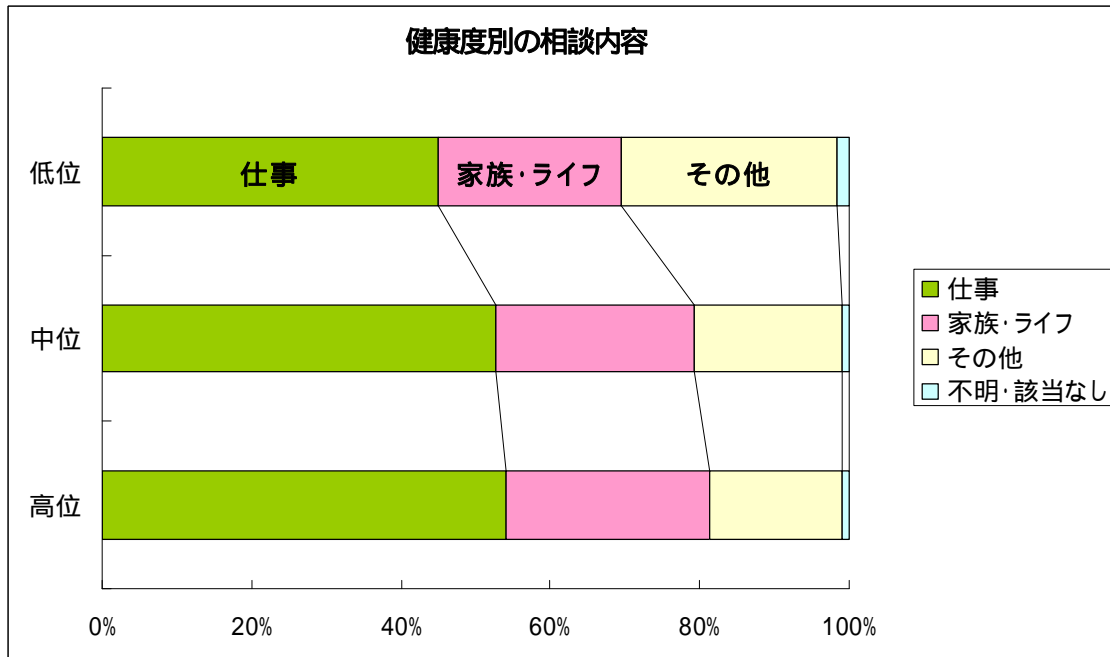
いくつかの中度から軽度の症状がある。または、社会的・職業的・学校生活面でいくつかの困難がある。

< 健康度低位 >

自殺に関わるような、または他社を傷つけるなどの重大な症状がある。または、社会的・職業的・学校生活面で深刻な障害がある。



【 相談内容の傾向 】



各項目の詳細 (小項目)

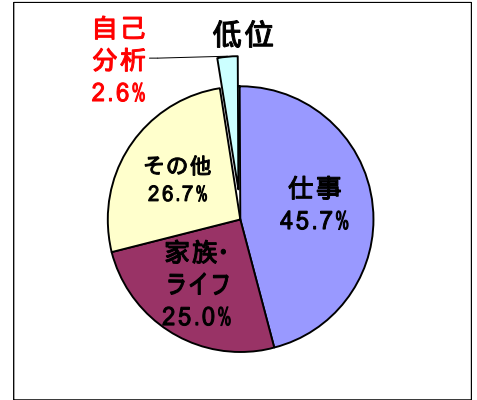
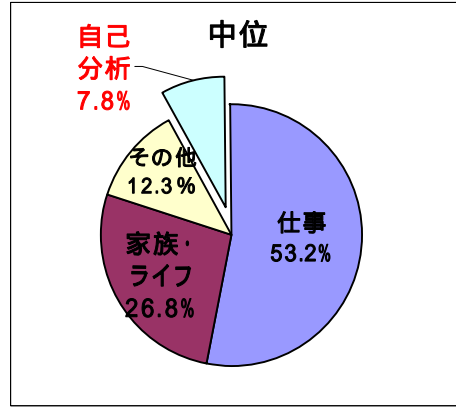
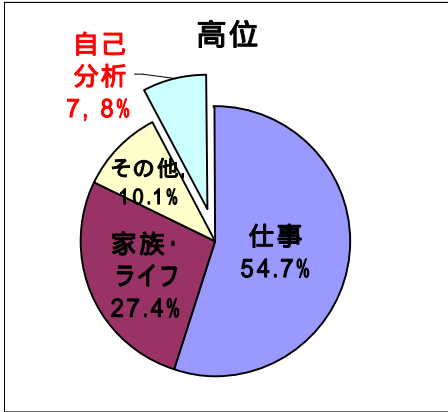
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・企業モラル・社風 ・社内規定・制度 ・異動・転勤 ・人事考課 ・定年退職・リストラ ・物理的職場環境 ・雇用・将来不安 ・キャリアプラン・目標達成 ・モチベーション、やりがい ・ワークライフバランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の自殺 ・労働災害や事故 ・教育・指導 ・業務上の身体負担 ・業務内容・質 ・顧客との人間関係 ・仕事のコントロール不足 ・仕事の適性 ・仕事の量・負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・上司との人間関係 ・同僚との人間関係 ・部下との人間関係 ・セクシャルハラスメント ・パワーハラスメント ・休職 ・転職 ・復職 ・その他職業関係
家族・ライフ	<ul style="list-style-type: none"> ・恋愛関係 ・夫婦関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子関係 ・介護問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他職場外の人間関係 ・その他の家族関係
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校進路 ・学校生活 ・発達相談 ・海外生活 ・災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境 ・対人関係 ・自己分析 ・健康管理 ・性的な課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーカー行為 ・ドメスティックバイオレンス ・虐待 ・その他のプライベート ・不明・該当なし



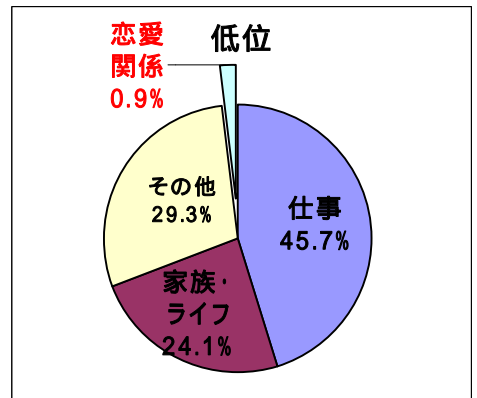
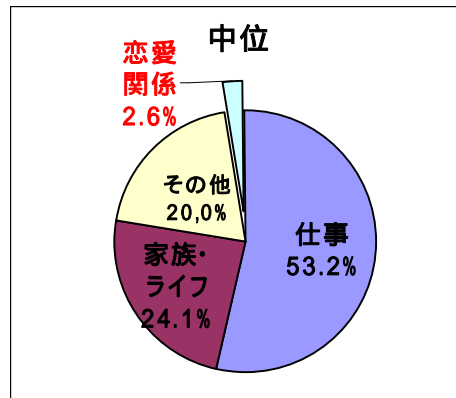
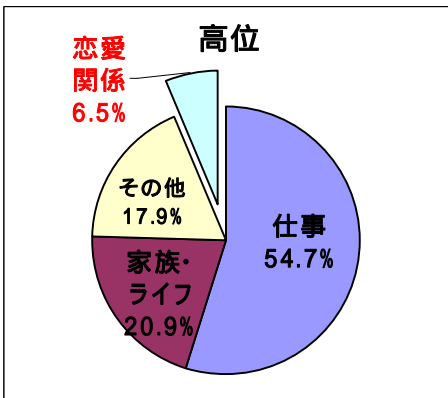
【健康度別の相談内容分析】

小項目の中で、有意差のみられたデータ（他の項目は大項目に集約して表示）

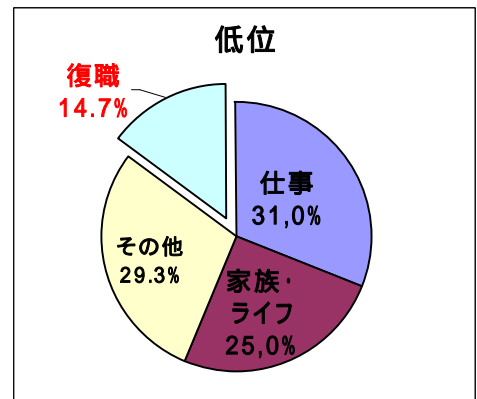
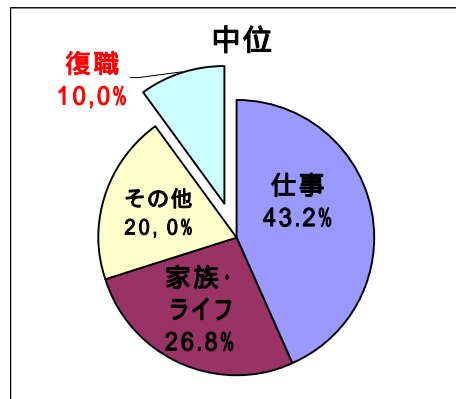
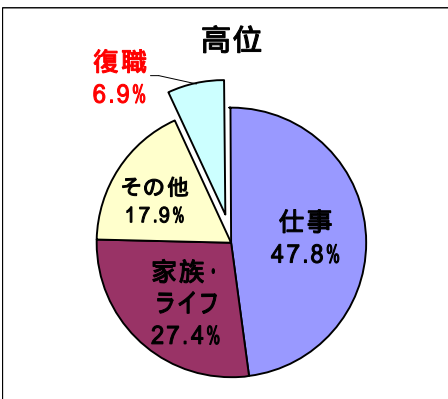
健康度 中位・高位者は、カウンセリングを自己分析に使っている



健康度が高いほど、恋愛関係の相談が多い傾向



健康度が下がるほど、復職相談が高い傾向



調査結果の一部をご紹介させていただいております。詳細につきましては、下記までお問合せくださいますようお願い致します。



株式会社ピースマインド 会社概要

< 本社所在地 >

東京都中央区八重洲 2-2-1 住友生命八重洲ビル 4F

< 代表取締役社長 >

荻原 国啓

< 資本金 >

90,250,000 円

< 事業内容 >

メンタルヘルスに関するコンサルティングや EAP サービスを中心に 300 社以上の取引実績を有する業界のパイオニア企業。個人および組織の問題解決と新たな価値の創造を目指し、日本で先進的に EAP（従業員支援プログラム）とカウンセリング事業を展開している。主要都市駅前・ホテルでのカウンセリングルームの直営展開、カウンセリングの新しい形であるオンラインカウンセリングサービスの開発、世界最大手 EAP プロバイダーとの業務提携による海外在住者向け支援サービスの提供、WEB を活用した本格的 EAP サービスの開発など、これまでになかった新しいサービスを積極的に展開し、日本におけるメンタルヘルスサービスの新しい概念・価値を生み出し続けている。カウンセリングには、高度な専門知識と豊富な実績をもつ臨床心理士等のカウンセラーがあたり、幅広いジャンルの問題解決をサポートしている。

本件に関するお問合せ・取材等のお申込み先

株式会社ピースマインド

コーポレートコミュニケーション室 広報担当：多恵（タエ）

TEL：03-3242-5777 FAX：03-3242-5775

E-mail：press@peacemind.com